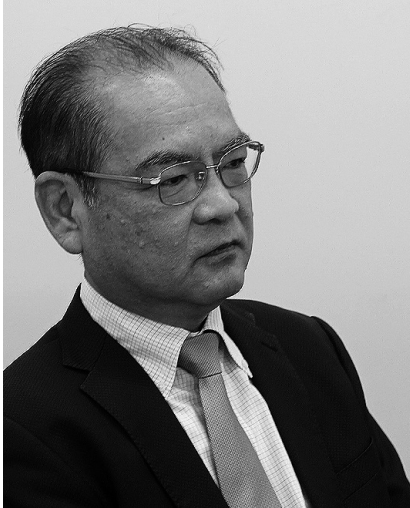


小倉明浩 教授

略歴と業績

略歴

小倉明浩(おぐら あきひろ)



学歴

- | | | |
|-------|----|--------------------------------------|
| 1983年 | 3月 | 滋賀大学経済学部経済学科卒業 |
| 1985年 | 3月 | 滋賀大学大学院経済学研究科修士課程
(経済学専攻)修了 |
| 1988年 | 3月 | 京都大学大学院経済学研究科博士後期課程
(経済政策学専攻)学修退学 |

職歴

- | | | |
|-------|----|--------------------------|
| 1988年 | 4月 | 滋賀大学助手経済学部 |
| 1989年 | 1月 | 滋賀大学講師経済学部 |
| 1991年 | 6月 | ミシガン州立大学訪問研究員(1992年7月まで) |
| 1993年 | 1月 | 滋賀大学助教授経済学部 |
| 2003年 | 4月 | 滋賀大学教授経済学部 |
| 2011年 | 4月 | 滋賀大学副学長(2014年3月まで) |
| 2012年 | 4月 | 滋賀大学国際センター長(2014年3月まで) |
| 2014年 | 4月 | 滋賀大学経済学部長(2018年3月まで) |
| 2018年 | 4月 | 滋賀大学理事 副学長(現在に至る) |

所属学会

日本国際経済学会 ラテン・アメリカ政経学会

社会における主な活動

- | | |
|---------------|--------------------------------------|
| 滋賀県地方労働審議会委員 | 2007年10月から2019年3月
(2012年から同審議会会長) |
| 滋賀県教育委員会委員 | 2009年4月から2013年3月 |
| 滋賀県私学審議会委員 | 2010年8月から2019年3月 |
| 滋賀県立大学経営協議会委員 | 2020年4月(現在に至る) |

社会貢献・連携に関する受賞

厚生労働大臣表彰(厚生労働省/2016年12月)

業績

共著

『グローバル・エコノミー』(岩本武和／奥和義／小倉明浩／金早雪／星野郁共著／有斐閣／2001年6月(新版2007年7月、第3版2012年3月))

論文

「米—ラテンアメリカ(LA)関係の危機と安定」(『世界経済評論』31巻 6号、56-63ページ／1987年 6月)

「先進国—後進国間関係と国際価値論」(『経済論叢』140巻 1・2号、73-88ページ／1987年7・8月)

「アジア—ラテンアメリカNIES間の成長格差について」
(『彦根論叢』265号、111-137ページ／1990年 8月)

「アルゼンチンの経済安定化政策—インフレーションと経済停滞の15年」
(西島章次編『ラテンアメリカのインフレーション』(アジア経済研究所)、87-123ページ /1990年 9月)

「'80年代における発展途上諸国の自由主義政策への転換の政治経済学的分析」
(『彦根論叢』273・274号、437-454ページ／1991年12月)

「工業化戦略の展開— 輸入代替工業化戦略と自由主義化戦略」
(小池洋一・西島章次編『ラテンアメリカの経済』(新評論)、65-84ページ所収／1993年12月)

「地域経済統合と経済安定化・自由化政策—MERCOSURの事例によって」
(『彦根論叢』299号、175-192ページ／1996年 1月)

「世界経済への再統合化と経済安定—NAFTAとメキシコ金融危機」
(『阪南論集社会科学編』第31巻第4号、69-80ページ／1996年 3月)

「世界経済の構造変化のもとでの地域経済統合—ラテンアメリカのケースから—」
(『彦根論叢』320号、79-94ページ／1999年 8月)

「水平的地域統合の経済開発効果—MERCOSURの成果と限界」
(『彦根論叢』332号、159-181ページ／2001年10月)

「経済統合と域内分業」(石黒馨 編『ラテンアメリカ経済学』(世界思想社)、252-276ページ／2003年3月)

「開発戦略とマクロ経済」
(西島章次／細野昭雄編『ラテンアメリカ経済論』(ミネルヴァ書房)、31-52ページ／2004年4月)

Jingxia Zhang & Akihiro Ogura, "Efficiency and factors influencing China's outward direct investment in ASEAN and the European Union: a comparative analysis"
(*Journal of Chinese Economic and Business Studies*, pp1-35, Vol.22 no.1. /
February 2024.(online Marsch 28))

[https://www.tandfonline.com/eprint/TQGSIIAIW5BIMNJDVTSH/
full?target=10.1080/14765284.2024.2334557](https://www.tandfonline.com/eprint/TQGSIIAIW5BIMNJDVTSH/full?target=10.1080/14765284.2024.2334557)